

くの字に折れ曲がった客車
PHOTO：倉本信之

東日本大震災 3・11 今、被災地では…


3月11日、マグニチュード9.0の大地震と大津波が東日本列島の太平洋岸を襲った。さらに、この災害によって発生した福島第一原子力発電所の放射線物質漏えい事故により、私たちは未経験の危機と不安に直面しており、その影響はあらゆる方面に及んでいる。

被災者の生活復興はもとより、弱者としての子どもたちの支援の問題、被災地の教育の再建、その後の精神的ケアなど、当面の課題が山積している。他方、原発事故をめぐる問

題は、今後のこの国の文化や私たちの生活の在りようを問い直す根源的論議に発展することが必至だ。

このような事態にやアートはどのような意味を持ち、何をなすうるかの、という課題も浮上している。

この未曾有の災害に直面し、私たちは、美術教育の在り方についても問い直す必要があるだろう。そこで、まずは被災地からの報告を通じて考えたい。



津波は集落丸ごと飲み込んで押し流した。PHOTO：倉本信之